



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第260回演奏会

The New Symphony Orchestra — 260th Concert

別宮貞雄生誕100年

Bekku Sadao 100th Anniversary

指揮 **湯浅卓雄**
YUASA Takuo, conductor

別宮 貞雄

BEKKU Sadao (1922-2012)

管弦楽のための二つの祈り

Deux prières pour orchestre, 1956

第3交響曲「春」

Symphony No. 3, 1981-84

ウォルトン

William WALTON (1902-1983)

交響曲第1番 変ロ短調

Symphony No. 1 in B-flat minor, 1935

*新型コロナウイルスの感染状況を考慮して曲目を変更しました。

公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団助成公演

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

17:00 開場

2023年1月14日(土) 東京芸術劇場コンサートホール 18:00 開演

Saturday, January 14, 2023, 6:00pm (doors open at 5:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 (全席指定)

チケットのお申し込み: [teket https://teket.jp/3558/17372](https://teket.jp/3558/17372) このQRコードをご利用ください→
インターネットを利用されない方は 080-9010-0058 (留守電にメッセージを入れてください)



*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

今回の演奏会では指揮に湯浅卓雄氏を迎え、イギリスの国民的作曲家ウォルトンの交響曲と、今年で生誕100年となる別宮貞雄作品を演奏します。

長年イギリスに居を構え、国際的に活躍してきた湯浅氏にとって、ウォルトンの交響曲第1番は特に大切にしているレパートリーの一つです。また、ナクソスの「日本作曲家選輯」シリーズで多くの邦人作品の録音をしていますが、別宮貞雄の交響曲第1番、第2番も発表しており、造詣の深いアプローチが期待できます。

とにかくカッコいいウォルトンの交響曲第1番

ウィリアム・ウォルトンは1902年ランカシャー州オールダム生まれ。父親は教会合唱団の指揮者で10歳からオックスフォード聖歌隊学校で学び、その後オックスフォード大学に進むも中退し、ロンドンでほぼ独学で作曲活動を始めました。

交響曲第1番は作曲中に途中映画音楽を手掛けるなどしたため3年かけて完成しました。ウォルトンは、ローレンス・オリヴィエ監督の『ヘンリィ五世』など多くの映画音楽を書き、しばしば演奏される『スピットファイヤー』も同名の映画の音楽を再編したものです。

ウォルトンの交響曲第1番は、近代的な作風ながら端正で活気に満ち華やか。現代の映画音楽にも通じる聴きやすい曲ですので、初めて聴く方にも楽しんでいただけるでしょう。

美しく心に響く別宮貞雄の音楽

別宮貞雄は1922年東京生まれ。東京大学理学部物理学科と同大学文学部美学科を卒業後、渡仏しパリ音楽院でミヨー、メシアンに作曲を学びます。「音楽本来の使命は、普通の人々の感情に幅広く訴えるところにある」と主張し、前衛音楽に向かわず、調性のある古典的なスタイルに繊細な抒情性を盛り込んだ独自の作風を確立しました。

『管弦楽のための二つの祈り』は帰国後に修行時代の集大成として作曲され、毎日音楽賞と尾高賞を受賞した別宮の出世作。「悲しみを持って」「雄々しく」と名付けられた2つの楽章からなり、しっかりした構造の中に人間の感情が表されています。

『第3交響曲』は1984年別宮61歳の時に完成。「春」という副題があり、春の訪れと山の自然と喜びに満ちた人々が表現されています。瑞々しく陽気に溢れたこの曲は、聴くと楽しい気分になることでしょう。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

ご来場いただくお客様へ（新型コロナウイルス感染症対策）

当日は平熱と比べ高い発熱、咳・のどの痛み・倦怠感等の体調不良がある方はご来場をお控えください。

会場入り口でご来場の皆様の体温を測定いたします。会場内ではマスク着用し、咳エチケットやこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。ほかの人との距離できるだけ空け、大きな声での会話はお控えください。クロークサービスは必要最小限（大型荷物のみ）です。出演者への贈り物はお控えください。

体調に不安がありご来場をお控えいただく場合や、当日の検温の結果入場いただけない場合は、チケット代を払い戻します。

詳しくはホームページにて注意事項や公演の最新情報をご

確認ください。これらのお願い事項につきましては、状況により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今後の演奏会予定

<第261回演奏会>

2023年4月23日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎 彦太郎

曲目 ドヴォルザーク/交響曲第7番

ドビュッシー/交響組曲「春」、交響詩「海」

<第262回演奏会>

2023年7月17日(月祝)14時 東京芸術劇場

指揮 中田 延亮

曲目 伊福部 昭/シンフォニア・タプカーラ

ファリャ/バレエ音楽「三角帽子」全曲 他

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志(1925-89)の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(山田一雄指揮、1979-90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。対象年齢:生後3ヵ月から小学校入学前、1公演あたり2,200円(税込)お問合せ:株式会社ミラクス ミラクスシッター、電話0120-415-306(平日9:00~17:00、土日祝日休み)